



これまで国際社会は、一部の国家による積極的な海洋進出や、環境への考慮が乏しい海洋開発などに対して、国際法の観点から違法性を主張することに終始してきました。しかし、違法性を主張し続けても、それを聞き入れない国が多数を占めているのが現状です。このような現状にあって国際社会は、短絡的に軍事のおよび懲罰的アプローチによる思考に走るのではなく、どの国もルールを守らざるを得ない、つまりルールを守ることにインセンティブがある国際的な海洋世論を創設することを検討することも必要ではないでしょうか。

以上の問題意識のもと、日本国際フォーラムは、令和2年度より伊藤剛・当フォーラム上席研究員（明治大学教授）主査のもと、研究プロジェクト「海洋秩序構築の多面的展開 - 海洋『世論』の創生と拡大」（<https://www.jfir.or.jp/studygroup/sg2/>）を組織し調査・研究を続けてまいりました。この度、3年にわたる同プロジェクトの成果を踏まえ、国際社会、特にアジアにおいて、自由で開かれた海洋秩序、また持続可能な海洋秩序、をどのように形成できるのか、また国際協力をどのように進めることができるのかについて、日本、中国、ASEAN、豪州等から、海洋をめぐる国際政治、国際海洋法、海洋環境などを専門にする研究者をパネリストに、活発な議論を展開すべく、3月22日（水）に下記要領にてJFIR国際シンポジウム「アジアにおける海洋秩序構築の多面的展開」をオンライン開催いたしますので、ご案内申し上げます。

## 記

1. 日時：2023年3月22日（水）13時から16時15分まで（Zoom開室は12時50分から）
2. 開催形式：オンライン形式（Zoomウェビナー）

「Zoomウェビナー」とは、各自のパソコンやスマートフォンから簡単にご参加いただけるオンライン会議システムです。会合までにメールにて、Zoom参加URL、パスワード等の詳細を送信いたします。

3. 言語：日英同時通訳
4. プログラム：

13:00-13:10 開会

13:10-14:30 セッション1「アジアにおける自由で開かれた海洋秩序形成に向けて」

基調報告A（10分）山田 吉彦 東海大学教授（日本）

基調報告B（10分）金 永明 中国海洋大学教授（中国）

基調報告C（10分）鶴田 順 明治学院大学准教授（日本）

基調報告D（10分）Thomas Wilkins シドニー大学准教授/オーストラリア戦略政策研究所主任研究員（豪州）

意見交換 (Q&A) (40 分)

14:30-14:40 休 憩

14:40-16 :00 セッション 2 「アジアにおける持続可能な海洋秩序形成に向けて」

基調報告 A (10 分) 渡邊 敦 笹川平和財団海洋政策研究所上席研究員 (日本)

基調報告 B (10 分) Michelle PALUMBARIT フィリピン大学准教授 (フィリピン)

基調報告 C (10 分) 木下 健 東京大学名誉教授 (日本)

基調報告 D (10 分) Evi FITRIANI インドネシア大学教授 (インドネシア)

意見交換 (Q&A) (40 分)

16:00-16:15 総 括 伊藤 剛 JFIR 上席研究員/明治大学教授

5. 参加費：無料

6. 申込方法：下記「申し込みフォーム」より、必要事項をご記入の上、事務局宛にご応募ください。

**参加ご希望の方はこちらからお申込みください**

< 本対話に関する連絡先 >

日本国際フォーラム事務局 (港区赤坂 2-17-12-1301 [TEL:03-3584-2190](tel:03-3584-2190))

---